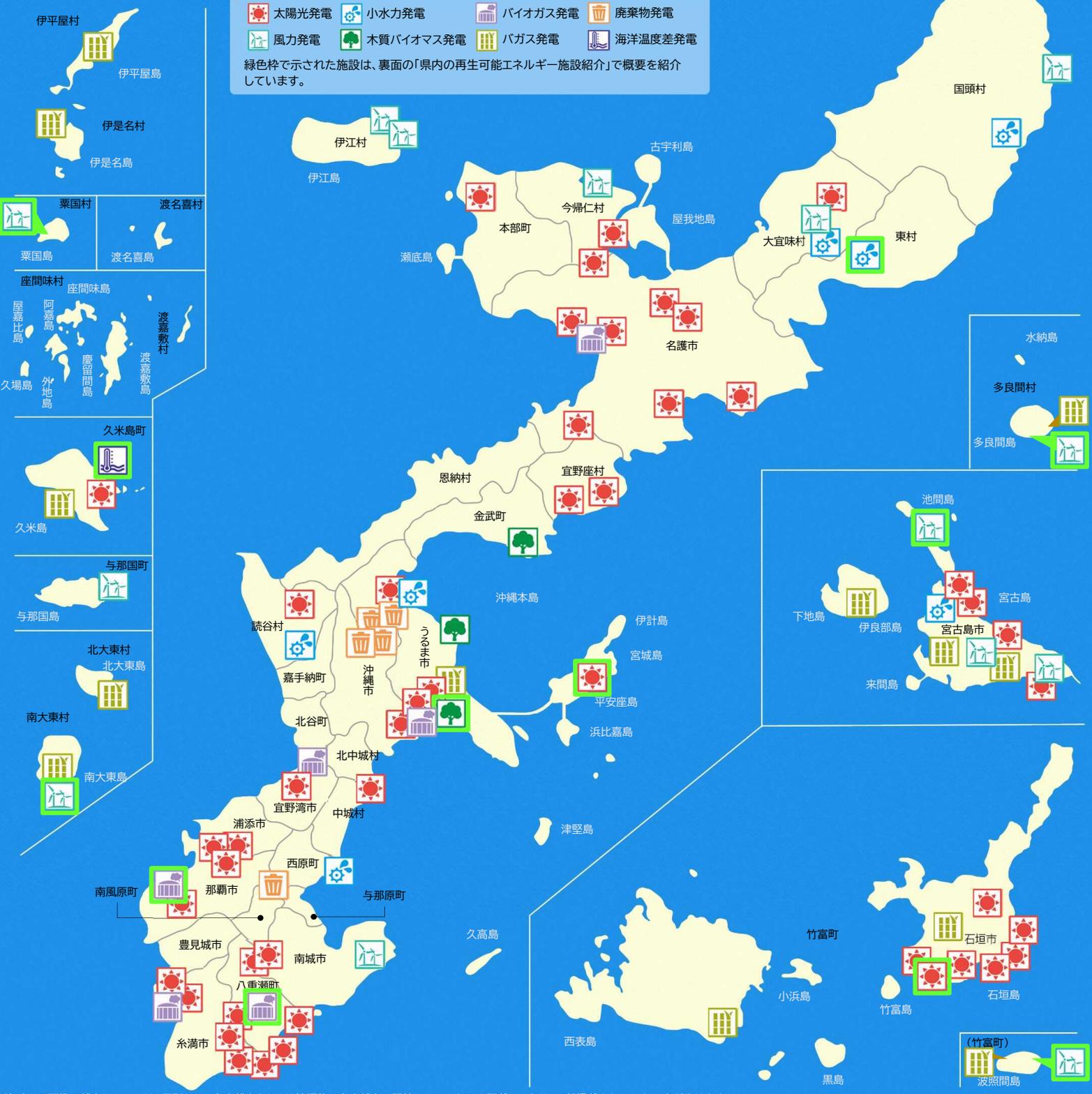


沖縄県 再生可能エネルギー施設マップ

(2021年(令和3年)12月現在)

太陽光発電
 小水力発電
 バイオガス発電
 廃棄物発電
 風力発電
 木質バイオマス発電
 バガス発電
 海洋温度差発電

緑色枠で示された施設は、裏面の「県内の再生可能エネルギー施設紹介」で概要を紹介しています。



注1)この画像の離島については、原則として有人離島もしくは地理的に有人離島に隣接しているものを記載しており、一部掲載されていない島があります。
 注2)正確な縮尺ではありません。また各島の外形・面積・距離には誤差が含まれます。

県内の再生可能エネルギー施設

※「事業計画認定情報」(資源エネルギー庁)、「沖電統計のあらまし」(沖縄電力株式会社)、及び県の聞き取り調査等を基に県が独自に集計したものです。
 ※未稼働施設、実証施設を含みます。

施設種別	合計出力	件数
太陽光発電 (①出力1,000kW以上、②行政所有設備等)	61,576kW	47件
風力発電 (出力20kW以上)	20,780kW	14件
中小水力発電	2,568kW	7件
木質バイオマス発電	64,917kW	3件

施設種別	合計出力	件数
バイオガス発電	3,305kW	6件
バガス発電	15,183kW	13件
廃棄物発電	19,080kW	5件
海洋温度差発電	100kW	1件

県内の再生可能エネルギー施設紹介

沖縄県では、「沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ」に基づき、SDGsの推進及び2050年度の脱炭素社会の実現を目指し、太陽光・風力・中小水力・バイオマス・海洋再生可能エネルギー等の多様な再生可能エネルギーの導入加速化を図っています。

ここでは、県内の再生可能エネルギー施設の事例について概要を紹介いたします。

【沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ】

本県では、令和3年(2021年)3月に、県のエネルギー政策の基本的な指針や施策の考え方を示した「沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ」を策定しました。

(令和4年(2022年)3月改定)



太陽光発電

バッテリーステーション(石垣市)

所在地: 石垣市美崎町14番地

出力: 10kW

(概要説明)

石垣市は、民間企業と協力し、観光客向けに電池交換式スクーターのバッテリーステーションを市有地などに設置しています。電源に太陽光を活用することで、モビリティの低炭素化及び自然環境に優しい観光振興を推進しています。



※写真は太陽光発電に併設された充電設備

うるまメガソーラー発電所

所在地: うるま市与那城平宮1

出力: 12,000kW

(概要説明)

うるまメガソーラー発電所は、沖縄県うるま市の沖縄石油基地内の敷地にメガソーラーを建設したものです。発電出力は12MWで敷地面積は16万平方メートルとなり、沖縄県最大のメガソーラーとなります。



出典)ENEOS株式会社



風力発電

可倒式風力発電設備

所在地:

- ・南大東島)南大東村字南496-1,496-2
- ・多良間島)多良間村字塩川1130-9
- ・波照間島)竹富町字波照間海原4969-1
- ・粟国島)粟国村字西1552-1,1555,1556,1557番地

出力: 245kW/基

(概要説明)

可倒式風力発電設備は、風車タワーを90度近く傾倒可能なため、台風等の強風被害が回避可能です。粟国(1)・南大東(2)・多良間(2)・波照間(2)の各島に計7基設置されています。

出典)沖縄電力株式会社



※写真は南大東可倒式風力発電設備

狩俣風力発電所

所在地: 宮古島市平良狩俣358-1

出力: 1,800kW

(概要説明)

沖縄新工機開発株式会社が設置した風力発電施設。島の北部の海岸線に建てられており、宮古島の観光シンボルになっています。

出典)沖縄新工機開発株式会社



中小水力発電

福地ダム小水力発電設備

所在地: 東村川田中上原1105-108

出力: 1,007kW

(概要説明)

内閣府沖縄総合事務局が管理する、沖縄県最大のダム「福地ダム」では、ダムからの放流水を利用した水力発電を行っています。発電した電力は、ダム管理用として使用するほか、余剰分を電力会社へ売電し活用されています。



木質バイオマス発電

中城バイオマス発電所

所在地: うるま市勝連南風原5194-43

出力: 49,000kW

(概要説明)

沖縄うるまニューエナジー株式会社が運営する中城バイオマス発電所は、木質バイオマス専焼の発電所として沖縄県最大となります。年間発電量は約350,000MWhで一般家庭約11万世帯分の年間消費電力に相当します。



出典)イーレックス株式会社



バイオガス発電

那覇浄化センター

所在地: 那覇市西3丁目10番1

出力: 1,210kW

(概要説明)

那覇浄化センターは、那覇市、浦添市、豊見城市、南風原町から1日に約15万立方メートルの下水を受け入れている下水処理施設です。汚泥処理で発生する消化ガスを燃料とした発電システムを備えており、これによって、那覇浄化センターが必要な電力量の約4割を発電して利用しています。



八重瀬町地域循環型バイオガスシステム

所在地: 八重瀬町字富盛1615-1

出力: 100kW

(概要説明)

環境省と農林水産省の連携事業である「地域循環型バイオガスシステム構築モデル事業」として建設したバイオガス発電施設。乳牛のふん尿からバイオガスを生成して発電し、処理過程で出る液肥は町内の畑(サトウキビ、野菜)や牧草地などに無料散布しています。

出典)株式会社八重瀬堆肥センター



海洋温度差発電

海洋温度差発電実証設備

所在地: 久米島町真謝 500-1

出力: 100kW

(概要説明)

県は、海洋深層水及び表層水を利用する海洋温度差発電について実証実験を行いました(平成30年度終了)。実証で取得したデータは、大学や研究機関等に提供し、海洋温度差発電に関する技術開発の支援につなげています。

